

人口減少対策特別委員会

令和2年9月29日

テーマ ・ 委員会の今後の進め方について

武藤委員長

各委員のベースを合わせ、中間とりまとめしながら、最終的に具体的にまとめて行きたい。

宮川副委員長

人口減少は自然減、社会減と多岐にわたる。各課の取組を聞いてベースを合わせたらどうか。

宮越委員

レポートの審議を先にすべき。急いで提言出すべき。

江口委員

8年かけて審議しており、慎重に審議すべき。まずベースを合わせる。

栗田委員

スケジュールをまず決めましょう。レポートは今後のテーマ決めの参考に使えばどうか。

本山委員

レポート先行は誘導に繋がりがねない。レポートは後々の参考として重要。まずは委員全員の方向性を一致させる。絡み合ってるので慎重にやらないと、中身の濃いものにならない。

丸山委員

月2、3回集まって早く結論を市民に発信すべき。

安田委員

レポート検証ではなく、レポートを共有して問題意識や課題を合わせることが重要。

【結論】

今年度は行政から話を聞いてベースを合わせ、次年度にまとめ作業に入る。

人口減少対策特別委員会

令和2年10月26日

テーマ ・ 上越市の人口減少及びその対策の実態について

・ これまでの人口減少対策に関する特別委員会の経過について

・ 上越市の人口減少及びその対策の実態についての報告

上越市まち・ひと・しごと創生総合戦略→推進体制として平成27年に上越市まち・ひと・しごと推進協議会を設立。産官学金労民の13機関からなる会員と、「しごとづくり部会」「結婚出産子育て部会」「まちの活性化部会」の各部会に参加する市民団体等からなるアクションメンバーを参加団体として構成する組織として、第一期総合戦略をまとめ、当市の地方人口ビジョン及び地方版総合戦略を策定した。

・ これまでの人口減少対策に関する特別委員会の経過について報告

h26~28 人口減少問題調査対策特別委員会 草間委員長

h28~30 人口減少問題調査対策特別委員会 平良木委員長

h30~r2 移住定住促進対策特別委員会 上野委員長

武藤委員長

今年度は今までの経過を熟知してもらい次年度はレポートや視察を踏まえ取りまとめたい。

宮川副委員長

移住・定住支援・結婚支援・子育て支援・雇用対策がまとめられている提言書5項目を理事者から進捗を聞いたらどうか。

宮越委員

具体的な政策として不妊治療・子供年金・育児休暇を提言に盛り込むべき。

江口委員

自然減・社会減工リアが広い中から方向性を見つけて結論を持っていくには慎重に。私見として財政健全化の視点の元、人口流出問題や雇用対策、晩婚化、子育て政策を考えるべき。

栗田委員

第一期総合戦略を読み込んで、現在進められている第二期を検証すべき。

提言書は理事者にきちんと伝わっているのかが大事なポイント。

本山委員

提言書を検証して次に進めるべき。

丸山委員

協議会に責任転嫁すべきでなく行政が責任を持って取り組むべき。全国の先進地を学ぶべき。

安田委員

具体的にこの特別委員会で何を議論するのかテーマを明確にすべき。

【結論】

提言書や現在進められてる市の総合戦略など熟知して次回の理事者からの勉強会に臨んで下さい